

The 5th Pacific Rim Food Protein Symposiumにおいて農学部大学院生が優秀発表賞を受賞

平成21年8月20～22日、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ ブリティッシュ・コロンビア州）で開催されたThe 5th Pacific Rim Food Protein Symposium において、信州大学農学部中村宗一郎・片山茂研究室の近藤葉月さん（大学院農学研究科応用生命科学科専攻1年生）がExcellent Presentation Award (The 1st place) を受賞しました。この研究は、酵素反応を用いて作成された多種多様な分子サイズ・疎水性度をもった新規フェノール化合物について、それらの構造と アミロイドβタンパク質のアミロイド形成抑制効果との関係について調べたものであり、安全な認知症予防治療薬の分子設計において新しい知見を提供したことが高く評価されました。

近藤さんにとっては初めての国際学会でしたが、適切な受け答えや他の研究者の発表に対して臆するところなく 積極的に質問するなどそのコンプリヘンシブ力やコミュニケーション力など総合的なアクティビティの高さが第1位を獲得する要因ともなりました。

受賞対象となった研究発表は以下の通りです。

Hazuki Kondo, Shigeru Katayama, Soichiro Nakamura : Enzymatic synthesis of
anti-amyloidolal phenolic compounds



写真 優秀発表賞を受賞した近藤葉月さんと優秀発表賞賞状